

祝津・絵鞆エリア賑わい創出に向けた検討状況について

室蘭市経済部観光課

(1) 水族館を含む祝津・絵鞆エリアの検討に至った経緯

令和4年12月 公共施設適正化の検討で、水族館の存続を表明（総務常任委員会）

（主な市民意見）

- ・親子、子ども、孫が楽しめる大切な場所。子育て支援・子育てしやすいまちに貢献。市民の憩いの場。
- ・室蘭に数少ない観光施設。室蘭を訪れるきっかけ。道の駅みたらと相乗で集客効果。
- ・北海道最古の水族館の歴史を大切に。

令和5年 5月 市長公約「民間活力導入による水族館の新設」

令和6年 6月 祝津・絵鞆エリアの面的な賑わい創出に向けて検討することとした

(2) 現水族館の課題

- ① 老朽化 昭和28年建築 築71年経過（令和6年度末時点）
- ② 赤字収支 市の財政負担は毎年約7,000万円（直近8カ年の平均）
- ③ 冬期間は休館、ミュージアムショップの不存在

水族館の収支改善のためにはコストカットだけでは限界 ⇒ 「単価UP」「入場者数UP」が必要！

人口減少や少子化が進み、今後もこの傾向は変わらない ⇒ 市外からの単価の高い入場者の確保が必須！
※市外の客をターゲットとした施設整備。市民には別途還元策の検討が必要

エリアの魅力向上（水族館含め） ⇒ 市外訪問客拡大 ⇒ エリアの賑わい創出 + 水族館収益増大



(3) 他の水族館等の調査・視察・意見交換等

① 竹島水族館（愛知県蒲郡市）館長の室蘭への招聘

令和7年1月21日（火）～22日（水）の日程で、竹島水族館の館長を室蘭市へ招聘し、「竹島水族館の復活の秘密」と題した講演会の開催や、本市水族館に関する意見交換や、市職員、水族館スタッフ等へのアドバイスをもらった。

② 他の水族館等の視察

	視 察
R6 5月22日～24日	富山県氷見市海浜植物園シーサイドパーク 愛知県蒲郡市竹島水族館 愛知県碧南海浜水族館
6月19日	千歳市サケのふるさと水族館
8月29日・30日	新潟県新潟市水族館(マリニピア日本海) 新潟港東港区第2東防波堤釣り場解放場所 新潟市万代島緑地(万代テラス)
11月13日	釧路市くしろ水族館ぱくぱく
R7 1月27日・28日	東京都葛西臨海水族園 東京都板橋区立熱帯環境植物館 東京都池袋サンシャイン水族館
1月30日・31日	北見市北の大地水族館(山の水族館) 紋別市オホーツクとっかりセンター
1月31日	鹿児島市いおワールドかごしま水族館



竹島水族館の取り組みに関する講演会



常時見学可能なバックヤード(葛西臨海水族園)

③ 室蘭水族館スタッフとの意見交換

スタッフが考える水族館のあり方、方向性、提供したいコンテンツ等に関する意見交換を実施。

④ 民間事業者との意見交換

まちづくり会社や大手建設会社などの民間事業者と、水族館に関する情報や意見交換を実施した。

(4) エリアで目指すべき方向性

- (1)「稼ぐ観光」（観光振興計画）
- (2)人を呼び込み、交流人口を増やす（エリアの賑わい創出）
- (3)観光消費の仕掛け作り（お金を落としてもらう）
- (4)エリアの資源や魅力を活かした観光産業の創出・再編

(5) 整備を予定する新水族館施設の方向性

- ① 現にエリアに集約されている観光資源との連携・ストーリー付けを意識
 - ・観光客等の回遊性を意識し、絵鞆臨海公園内への移設を基本に検討する。その際に用地が限られているため、隣接市有地等の活用も検討。
 - ・維持管理コストの面から、大型遊具の今後の取り扱いについて検討する。
- ② 室蘭独自の魅力を感じさせる
 - ・埋め立てで失った海や磯を間近に感じられる昔の「風情」の回復など、独自の魅力付加。
- ③ 「稼ぐ力」を向上させる（エリアの交流人口拡大）
 - ・道の駅との連携や、飲食や物販機能の強化など、交流人口の拡大について検討する。
- ④ 通年開館（現在は冬期休館となっている）
 - ・休館中も維持管理費が発生している。通年開館で収益の向上を目指す。
- ⑤ 民間活力導入による整備を優先
 - ・民間による自由度の高い整備を期待し、民間投資による整備を優先して検討を進める。



(6) 市立室蘭水族館の沿革

- | | |
|----------|--|
| 昭和25年7月 | 市長を会長、市議会議長を副会長とした「水族館誘致期成会」が結成され、道立水族館の誘致活動が展開された |
| 昭和28年6月 | 捕鯨事業所跡地に北海道立水族館が開館（北海道で最古の水族館） |
| 昭和37年4月 | 北海道より室蘭市へ移管され「市立室蘭水族館」となる |
| 平成17年11月 | 一般社団法人室蘭観光協会を指定管理者として運営を移管し現在に至る |

(7) 調査・ヒアリングから出た意見のまとめ（水族館のコンセプト設定）

室蘭水族館当初の想い (水族館設置趣意書より)

- ・北海道が水産王国を誇り、道民全般に対して水産業に関心をもたらし施設
- ・水産の科学的振興の一助となり道民教育の一大機関となる施設
- ・支笏洞爺国立公園が近隣に存在しており、一層の観光客を北海道に誘致し、北海道観光事業に大きく寄与する施設
- ・札幌方面にのみ集中することなく、地方文化の向上に資する施設
- ・道内は勿論、広く道外からの訪問者に対して、水産業に対する関心をもたらし施設
- ・水族館は海洋化学博物館の一部として考え、背後のエトモ茶趾～測量山を越して、市内中央部に出るハイキングコースも含めて自然教育園としたい
- ・来館者に自然への興味を持たせ、日本水産の特殊性、北海道の漁業等と学校のカリキュラムと結びつく施設

室蘭水族館らしさ

- ・ほのぼのとした空間
- ・市内の漁師さんと協力関係がある
- ・他の水族館にはないアットホームな雰囲気
- ・ちょうどよい距離感

こんな室蘭水族館であってほしい

- ・アットホームさを失わない水族館
- ・安全・安心な水族館
- ・胸を張って水族館を言える施設
- ・職員と来館者のちょうど良い距離感を大切にしたい
- ・世代を超えて愛され、いつでも帰って来れる場所
- ・エリア全体で連携した賑わいの創出
- ・自然豊かにピクニックができる場所
- ・何度も足を運びたくなる場所
- ・寒くて道が悪くても来館したい場所
- ・季節を感じることが出来る場所
- ・生態系（BC）の理解を深める場所
- ・思い出の継承

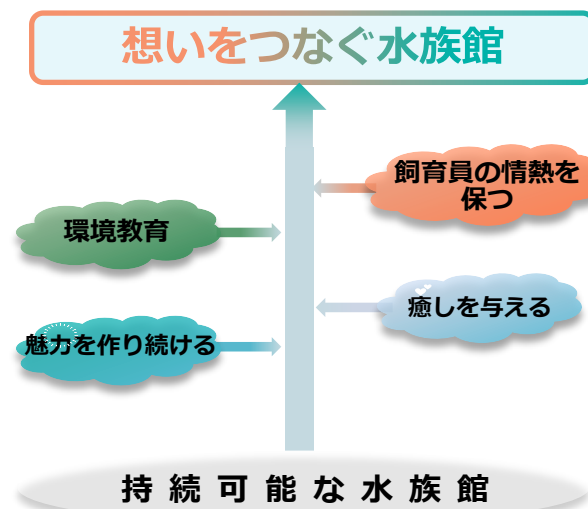
室蘭らしさ

- ・時の流れがゆっくりした空間、雰囲気がある
- ・自然の景勝地の質が高い
- ・人の出入りが多く、室蘭の人は優しい
- ・遊ぶ場所、住む機能が多すぎず、少なすぎずちょうど良い
- ・ホスピタリティが高い。市民が優しい
- ・製鉄に限らず、技術力が高いまち

室蘭水族館に必要なこと

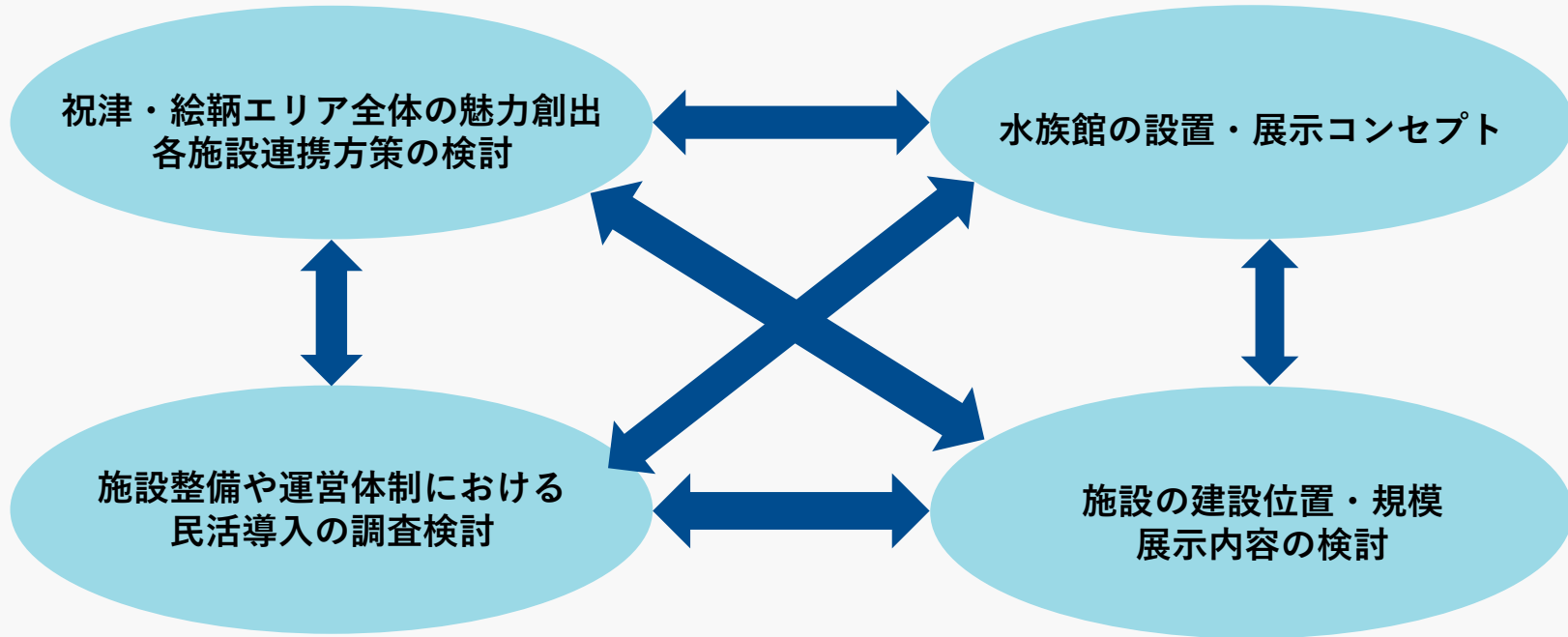
- ・室蘭の特色を活かしたコンパクトな水族館
- ・飼育している人の顔が見える工夫
- ・飼育員の見識・教育の場を拡げる
- ・子どもだけでなく大人も楽しめる水族館を目指すべき。（幼児教育から生涯学習まで）
- ・残すものは残しアットホームさを維持
- ・周辺施設と連携して一貫したストーリーを持たせて来館者数を増やすことで、エリア全体の活性化につなげる

水族館のコンセプト



(8) 今後の取り組み・スケジュールの概略

以下の項目について、相互の関連に配慮した検討を行うことが必要



概略スケジュール

令和7年6月19日

令和8年3月末頃

令和8年12月末頃

経済建設常任委員会報告

調査検討内容の庁内整理

新しい水族館の絵姿の公表